

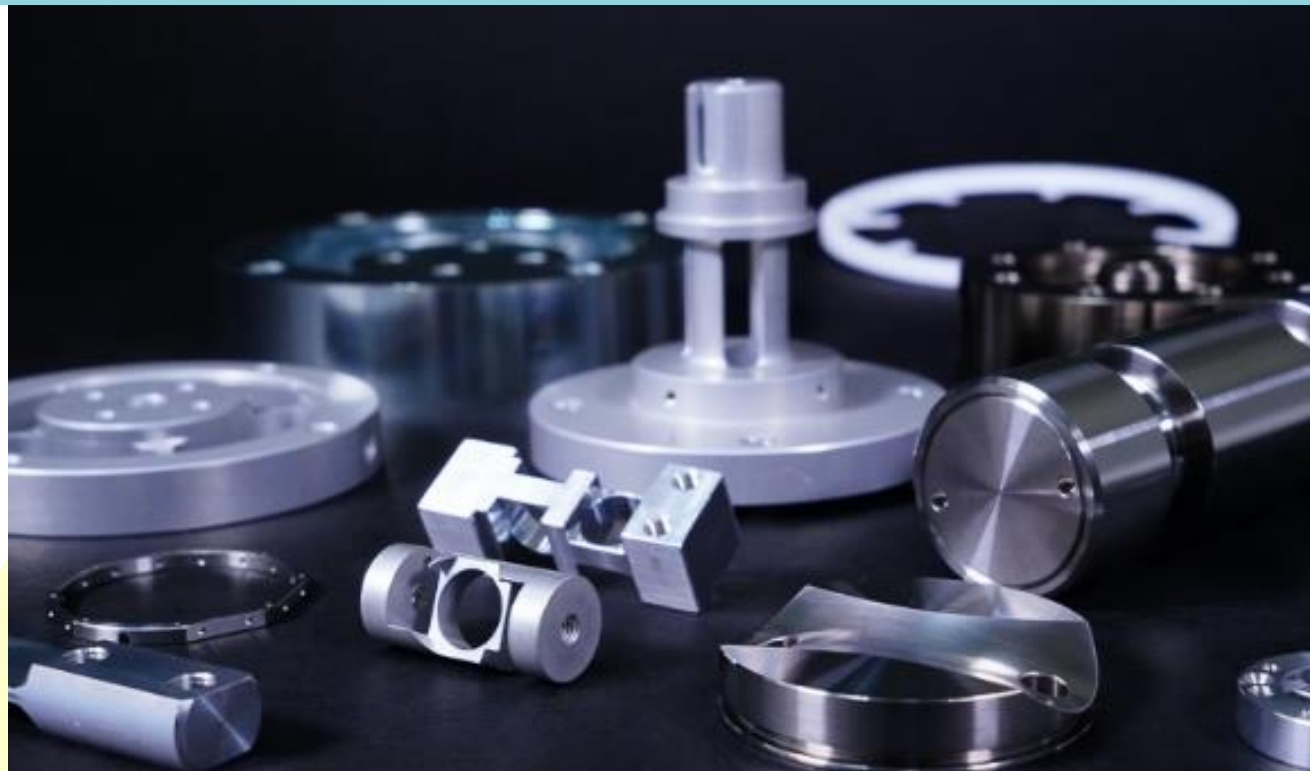
25年度補正

ものづくり
技術

株式会社SHIMO製作所



家業から企業へ、最新MCで次世代へ向けた事業体制構築



加工した精密部品

生産効率が低く、受注の機会を逃すケースがあった

一般的に精密加工の技術力は人的能力と設備能力で決まると言われている。当社は元々、現在の会長1人で操業していたが、そこに長男夫婦が入社したことで人的能力が3倍になった。しかし、設備は現会長が1人で製造していた時のままであり、年数も経過していたため加工の際に微調整が必要なことも度々で生産効率が低かった。そのため引き合いがあっても顧客の要望する納期に対応できず受注の機会を逃すケースも出てきていた。



既存のマシニングセンタ

こんな会社です

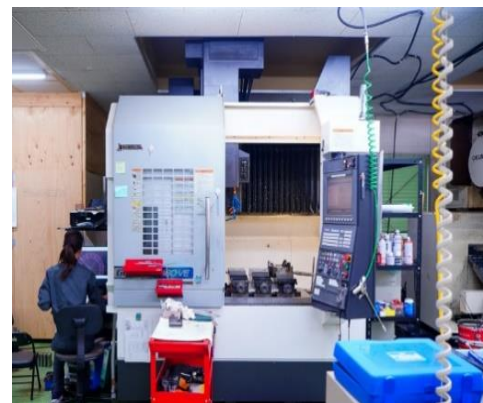


代表取締役 下茂隆博
(左から2番目)

高品質・低コストを両立したご提案に努めます

当社は、平成30年1月に法人化を果たしました。事業は旋盤加工・マシニング加工を主軸とし、高い加工精度と品質管理が求められる「測定機器」「自動車部品」「ロケット部品」などの精密金属の切削加工を得意としており、充実した設備で高品質・低コストを両立したご提案で喜んでいただいております。また、ものづくり補助金で最先端の設備を導入したことで、さらに高精度な加工をスピーディーに行える体制が整いました。設備面だけでなく技術面においても、現状に満足することなく、お客様のご期待に沿えるよう取り組んでまいります。

最新のマシニングセンタを導入し加工スピード・精度の向上を図った



導入したマシニングセンタ

現在のマーケットの動向は小ロット、短納期が当たり前になっており、既存設備の能力では対応が難しかった。この課題を解決すべく、高速回転による加工が可能で、スピード・精度にも優れているマシニングセンタを導入した。既存のマシニングセンタと2台体制で製造できるようになり、多様化する顧客のニーズに迅速に対応できる体制が整った。

売上の伸び、法人化など補助事業申請時に掲げていた目標を達成

加工スピード・精度が向上したことで、これまで失注していた案件や急ぎの案件にも対応できるようになった。設備導入前よりも取引先が3社増え、売上も1.5倍以上伸び、従業員も増やすことができた。事業承継も完了し世代交代したことで、お客様の幅が広がってきているのを感じている。法人化や売上目標など、補助事業申請時に掲げていた目標を計画通り達成することができている。



マシニングセンタの操作

新たな設備の導入や技術力向上の両輪で事業の更なる発展を目指す



最近導入した複合加工機

事業を発展させていく上で重要になってくるのが時間的余裕である。そこで、一昨年複合加工機を導入したが、併せて三次元CAD・CAMの導入やNC旋盤の入れ替えを行う計画である。設備の更新を行うことで加工スピードと精度を更に上げていきたい。もう一つ大切になってくるのが社員教育である。加工前にツールをセットする「段取り」という作業があるが、現在は特定の者しかできないため待ち時間が発生する場合がある。一人でも多くの社員がその作業をできるよう訓練していくことで、加工時間を増やし顧客の要望に応えられる体制を構築したい。設備能力と人的能力の両方を伸ばし、事業の更なる発展を目指す。

info

株式会社SHIMO製作所
代表取締役 下茂 隆博

事業実施場所
〒899-0133
鹿児島県出水市福ノ江町467
TEL 0996-79-4711
FAX 0996-79-4712
<https://shimoworks.com/>

設立 平成30年1月
資本金額 200万円
従業員数 3名
業種 金属製品製造業



社屋